

## 生活機能とは：疾病との違い

	生活機能	疾病
基本的視点	どう生きるか － 社会の中で生きている個人	病気や症状がないか － 生き物としての人間
あつかう 問題の複雑さ	多種多様	比較的均一
良くし方	目標とする望ましい状態は個別的・個性的なもの (個人差・個別性が大きい)	異常を正常に治していく (疾患レベルの正常状態は個人差が少ない)
予防・改善・ 向上の考え方	生活機能低下の因果関係と、予防・向上のキーポイント とは別のことが多い。 全体像の把握に立ってキーポイントをおさえる	原因・病態生理・症候の異常を正常化
マイナスへの 対し方	プラスを増やすことが大事 (マイナスを減らせばプラスになるとは限らない)	マイナスを減らすか他人の助けで補う
気付き方	本人自身でマイナス面に気付きやすい (しかし専門家に相談できる内容との認識は少ない)	本人自身で気付くとは限らない (症状出現前に健診で発見できることもある)
本人の役割	本人・家族が主体で、その積極的関与が必要 I C Fモデルに立って自己決定権を発揮 専門家は支援者	専門家中心 本人はよく理解して同意することが主 選択の余地はあるが、大きくない